

南部北上帯中部ペルム系岩井崎石灰岩最上部の詳細層序

Detailed stratigraphy of the uppermost Iwaizaki limestone (Middle Permian) in the South Kitakami belt

林 隆太郎^{1*}, 磯崎 行雄¹

Ryutaro Hayashi^{1*}, Yukio Isozaki¹

¹ 東京大学大学院総合文化研究科

¹Department of Earth Science & Astronomy, The University of Tokyo

南部北上帯のペルム系岩井崎石灰岩は陸棚層の浅海成石灰岩からなる。フズリナ生層序に基づくと、その上半部は中期ペルム紀後期キャピタン世の年代を持つ。しかし、その最上部の層厚約30 mの区間の詳細な岩相や年代はよくわかっていない。本発表では、その部分の詳細な岩相層序について報告し、特にキャピタン世を示すフズリナ *Lepidolina multiseptata* の産出上限周辺での環境変化について考察する。

キーワード: ペルム紀, 岩井崎石灰岩, 南部北上帯, フズリナ, 軟体動物, キャピタン世

Keywords: Permian, Iwaizaki limestone, South Kitakami belt, fusuline, mollusc, Capitanian